

夏休み親子「海の学校」を開催

2014.8.11

報告者：(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会 振興事業部 神田 京子

当協会では、海への親しみと理解を深めてもらうため親子向け体験教室等を開催しており、今年も8月6日(水)～7日(木)に、横浜ベイサイドマリーナ(YBM)において、「海の学校」を開催しました。



同イベントは「YBM 海の学校」の一環として行われているものですが、当協会も共催者に加わり、今年で9年目になります。

公募等で申込のあった横浜市内の小学生とその保護者を対象に例年、海に親しみを感じてもらおう親水性リクレーションのカヌー・ディンギーの乗船、海の大切さを知ってもらう海藻を利用したハガキ作りを行います。今年は台風の影響で強風が吹き荒れ、6日は「海藻おしば教室」のみ、7日は海藻おしば教室終了後に、希望者に

マリーナ内をクルージングして、海に親しんでもらいました。

海の学校開校式



YBM：上森校長ご挨拶



海レ協：佐久間理事長挨拶 7日



海レ協：加賀谷常務理事挨拶 8日



YBM：松尾代理校長ご挨拶

海藻おしば教室

「海藻おしば教室」では、海藻が作る「海の森」の重要な働き(海水の浄化、海水中のCO₂の吸収・酸素の放出などの地球環境を守る機能)などの説明の後、今回は横浜市が推奨する“ブルーカーボン”の説明、カジメを使った海藻の色の変化の実験など、カヌー・アクセスディンギー体験の中止により「海藻おしば教室」の時間が例年より多く取られたこともあり、海藻についてより詳しく、講義を受けることが出来ました。講義後はいよいよ親子によるカラフルな海藻を使った海藻おしば作りへの挑戦が始まります。はがきの台紙の上に色や形の異なる9種類の海藻を組み合わせ思い思いのイメージが描かれていました。子供達はもちろんの事、保護者もおしば作りに熱中! 力作が沢山出来ました。完成した作品は乾燥後約一週間で自宅に郵送されることとなっています。



海藻の説明をする野田先生



海藻に成りきる参加者



海藻の色の変化に注目



海の森の映像に見入る



先生の手元に注目



大人も子供もおしば作り夢中！教室がシーンと静かに



～楽しく夏らしい力作が次々完成しました～

マリーナ湾内クルーズ

今年は台風 12 号の影響で「カヌー・ディンギー教室」は、中止になりました。しかし 7 日は前日より風が落ちた為、希望者を募り湾内で海を感じてもらいました。2 日間とも猛暑でしたが、潮風が心地よく親子で、元気に夏の海を満喫していました。



～夏休みの良い思い出になったことでしょう～